

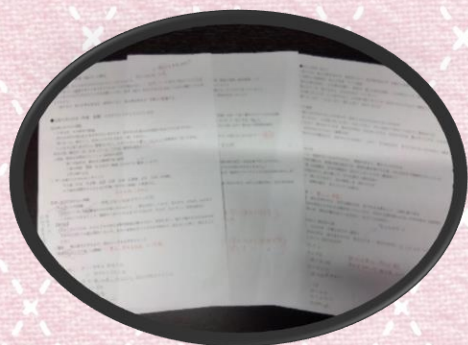
フィールドワーク学習訪問

2022.12.2(金)

きのくに国際高等専修学校の生徒さんがフィールドワークの一環で来寺されました。10名の生徒さんでしたが、1年生から3年生までが混ざったグループだったようです。社会の構造や人間の心理を考える中で、圓滿寺では「煩惱」について知り、どのような心持ちが必要なのかを学ぶ時間を設けました。

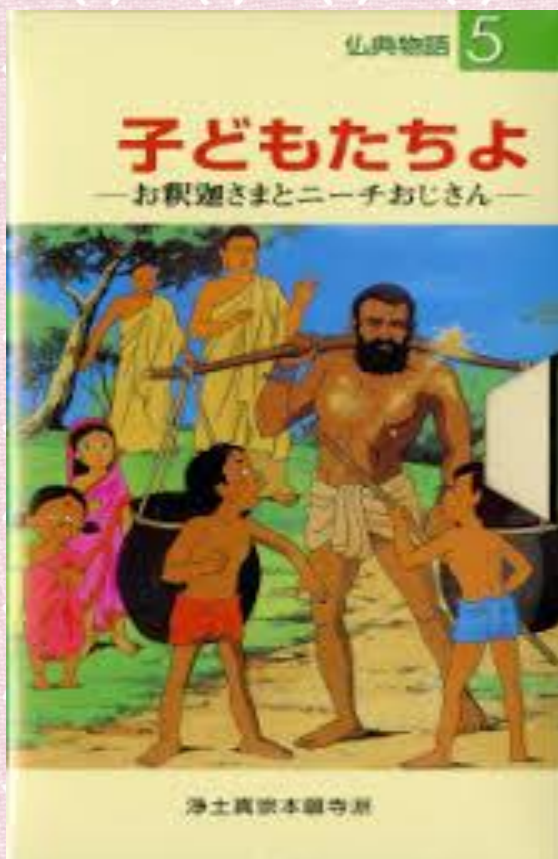


早朝のサッカーの劇的勝利で眠たかったんじゃないかと思いましたが、生徒の皆さんメモも取りながら一生懸命にお話を聴いて下さいました。



レジュメを見ても結構難しいことが出て来て、初めて見聞きする言葉も沢山あったと思います。

「煩惱」とは、人間の欲です。煩惱を払おうとしたところで無くなることはありません。では、どうしたら良いのか。諦める、開き直るのでは無く、仏さまのお話をお聴聞し、我が身を知らされ、気づかされ、受け入れることが大切なのではないのでしょうか。



院主のお話の後にはアニメ「子どもたちよ」を鑑賞。お釈迦さまが「応病与薬」の如く、子どもの性格・特性に合わせ、たとえ話をしながら解りやすく教えを説かれているものです。

質疑応答の時間には、難しいテーマでしたが、核心をついた質問、感想が多いことに驚かされました。

人間である以上煩惱は無くなりません。自分の思い通りにならないから腹が立つ。自分の思い通りにしようと思うから腹が立つのです。それは相手(他者)も同じように思っています。どちらが正しい間違っているではなく、自分と違う意見も、「そういう考え方もある、そういう風にも考えられる」と、自分に無い考え、新しい発見が出来たと喜べると少し楽になるのではないのでしょうか。

「過去と他人は 変えられないが
自分と未来は 変えられる」



幽霊について質問されている生徒さんがいらっしゃいました。これも素晴らしい質問です。院主が「幽霊とは私の姿(人間)」だと申しました。地に足がついておらず、後ろ髪を引かれながら彷徨う姿は人間そのものです。

他人の言葉に惑わされ、占いに頼ってみたり、不安なことがあれば、他者や幽霊のせいにしてみる。そうすると楽ですよ。自分自身が一番頼りにならないのです。そんなどうしようもない私をあるがまま、私のままに救うと願って下さるのが阿弥陀如来さまです。見捨てることなく、いつでも寄り添って下さっています。私たちはその恩をただいただくばかりで何も出来ませんが、せめて“おかげさま”と手を合わせお礼申すのです。

僅かな時間でしたが、皆さんがどんな勉強をされているか、どうなりたいか等も一部聞かせていただきました。自分の考えがしっかり述べられる、自主的に行動できる生徒さん、またそれを重んじて見守り、必要な時に助言される先生の姿勢はとても素晴らしかったです。「みんな違ってみんないい」を改めて感じたこの度のご縁でした。有り難うございました。



皆さん、学ぶことへの姿勢が素晴らしく、こちらは大変勉強させていただきました。

またいつでも気軽にお茶飲み、遊びに来て下さいね。